

秘

大連防日報第三三號

大連海防備隊

五八

三十八年十月三十日正午

供見

軍務局

二頁

第一埠頭間沈船中沉没船一隻昨二十九日引揚了セリ之ヨ九隻目トス

該埠頭間沈船十隻中九隻引揚了リ所引揚船一隻

南三山島衛新ト南三山島燈其燈同電線線者ニ六日新設開通セリ

南三山島本燈其燈二十八日落成昨二十九日夜ヨリ點燈開始セリ従来假設燈等ハ二十九日撤去シタリ

京城吉田少佐ヨリ電報ニヨレハ

京城駐劄英國公使「ジョンダン」氏稅務司「ブライ」氏韓國視察汽船弘滿號「仁川」ヨリ末月廿日朝大連着豫定ナリ

軍艦金剛ヨリ通知アリ

1766

假裝砲艦八隻本月軍艦赤城引繼滿之付本艦八  
來航二十日午後一時大連出港佐世保引經之舞鶴  
回航

鎮遠二十九日大連、向佐世保發

芝罘丸昨二十九日午後五時佐世保、向出港當隊ヨリ、  
重丸塔載物、佐世保海軍工廠行海防用水雷船八  
箱令附屬品貳拾七個其他漢船三隻。玉利旅順  
口鎮守府考謀長鈴木旅順、海軍病院長便乘

陸軍運送船及商船出入港左、如之

十月廿九日午後

出 除彦、同、尾、環、幸、代、(以上内地)  
入 安藝、弘、島、東、都、辰、丸、(商船)、土、海

十月三十日午前

出 富、山、豐、盛、長、幸、(以上内地)  
入 英、航、(商船)、二、盛、運

大連所日報第三三九號 大連灣防備隊

三十八年五月一日正午

一七號砲艦午前九時三十分出港

一大山總司令一行昨三十日午前七時三十分隨旅順ヨリ着連  
直。舟後九時乘艇午後〇時四十分河内丸弘濱丸ヲ伴。宇  
品。向。出。發。凱旋。途。就。カ。レ。タ。リ

一周防ハ明二日午後三時旅順口外追出。三日午前七時佐世  
保。向。出。発。豫定

一昨年三月末ヨリ佐世保測器庫ヨリ來ル軍用氣象ヲ氣象  
通報ノシテ毎日海軍方面必西女ノ艦船部隊ニ配付シ來ル  
處存日ヨリ之ヲ去

一本日正午在港艦船

軍艦 金剛、敷波

戰利船 三河川

海軍運送船 襟裳

十二八

1768

陸軍運送船 旺洋、依姫、二扇海、東都、高砂、酒田

盛運、笠戸、英航、安藝、金沢、丹波

美代、宣蘭、若狭、仁川、佐渡、糸田

巴博号、二辰、米山、立山、楊武、蓬萊、若

太和、留美、辰

商船 金山、康安、金城、永田、蓬萊

一陸軍運送船及商船出入港元、如左

十月三十日午後 出古備母、丹後、弘濟、河内(以上内地)

入 土佐、楊武

十月一日午前 出 石里(内地)

入 土佐、旺洋、遠東、太和、(商船)永田、蓬萊

(3)

大連防日報第三四〇號 大連灣防備隊  
三十八年三月二日正午

一七 砲島附近浮流水雷発見処分

鎮遠 三十八年三月二十日北緯三十四度五十三分半東經百三十五度三十五分(七 砲島北西海面約三哩)三月形之浮水雷発見物  
十 浮流水雷発見 砲島北西海面約三哩(三 砲島北西海面約三哩)三月形之浮水雷発見物  
同艦長ヨリ報告アリ

一海 洋 艦 沖 浮 水 雷 発見

鎮遠 東九 砲島北西海面約三哩(三 砲島北西海面約三哩)三月形之浮水雷発見物  
百三十三度十分北緯三十八度三十分(海 洋 艦 南端 南西  
三 哩)所 之 薄 赤 色 円 形 鉄 製 之 浮 流 物 ヲ 発見 セリ

一 鎮 遠 昨 日 午 後 九 時 四 十 分 子 日 今 日 午 後 六 時 三 十 分 何 七  
佐 世 保 日 入 港

一 韓 國 汽 船 船 名 濟 年 前 十 時 三 十 分 仁 川 ヨリ 入 港 午 後 一 時 三 十 分  
旅 順 向 ヲ 出 港 四 日 太 浩 向 ヲ ト 出 港 午 後 八 時 韓 國 英 國  
公 使 シ ヨ ル ガ ン 氏 総 務 司 フ ラ ウ ン 氏 乘 船 ス

一 周 防 風 波 為 之 旅 順 口 出 ヲ ル ハ 明 三 日 午 後 三 時 迄 刻 者  
通 報 アリ

大 陸 部

軍 務 局



1770

同日名子由吉、在港艦船、防備隊、橋、船、營業、特

許ヤウ船シ、防備隊、旗、章、ヲ、揚、リ

防備隊



二尺三寸

久通宮殿下、昨日午前八時三十分、陸軍司令部、兵、着、速、速、津、出、立、  
二、却、休、再、起、午後二時三十分、大連、歌、登、岸、埠、頭、早、安、藝、丸、出、立、  
船、ハ、御、豫、定、也

芝罘、丸、昨日午前七時、吉世保着

陸軍運送船及商船出入港丸、如、下

去月一日午後 出三辰 東都(以上内地) 商船 蓬萊、金山

入福山、苔島、樺太、明保野、大洲

去月一日午前 出依姪(内地)

入神州、ふき、阿波、新竹、吉野、御室

一東御、日英、北陸

一商船 天照、二盛運

3

大連防日報第三四號 大連灣防備隊

供覽

齊 三十八年三月三日正午

軍務局

一昨二日午後三時五十分發台中九電報  
台中九、陸務ハ三月三十日結了又艦隊附屬港務部員  
事務所ハ、揚々佐世保之向々出發ス佐世保事務所ハ  
務員 佐世保港務所内ニ設置ス

一芝那島 九百頭

魚島嶺ニ生シタル魚ノ約三百米突、所ニ西海  
中ニ魚ノ種類多シ、視察ヲ行リタル後、其面市支那人劉兆伊  
ニ此記ノ条件ヲ以テ四員却候旨大連兵船司令部ヨリ通知  
アリ

一現在、福壽商場ニ繫留シテ三月二十九日ヨリ三月二十八日ニ至ル  
間ニ青羊衝以外ノ地ニ運出スベキモノト  
又前項ノ規約ニ及ビ青羊島地内ニ右箇近ニ發見セルト  
キハ之ヲ沒收スルノ外相當處分アルベキコト

一今剛昨午午後一時佐世保ニ陸軍艦隊向々帰航途ニ就  
キリ

一先、交通船定期運行表大連旅泊場司令部ヨリ送付アリ

交通船定期運行表 (土月分) 土月二日調製

宇品 鎮南浦線 宇品大連線

往		復	
船名	日期	船名	日期
宇品	土月二日	大連	土月二日
門司	土月三日	仁川	土月三日
仁川	土月四日	鎮南浦	土月四日
鎮南浦	土月五日	大連	土月五日
門司	土月六日	仁川	土月六日
仁川	土月七日	鎮南浦	土月七日
鎮南浦	土月八日	大連	土月八日
門司	土月九日	仁川	土月九日
仁川	土月十日	鎮南浦	土月十日
鎮南浦	土月十一日	大連	土月十一日
門司	土月十二日	仁川	土月十二日
仁川	土月十三日	鎮南浦	土月十三日
鎮南浦	土月十四日	大連	土月十四日
門司	土月十五日	仁川	土月十五日
仁川	土月十六日	鎮南浦	土月十六日
鎮南浦	土月十七日	大連	土月十七日
門司	土月十八日	仁川	土月十八日
仁川	土月十九日	鎮南浦	土月十九日
鎮南浦	土月二十日	大連	土月二十日
門司	土月二十一日	仁川	土月二十一日
仁川	土月二十二日	鎮南浦	土月二十二日
鎮南浦	土月二十三日	大連	土月二十三日
門司	土月二十四日	仁川	土月二十四日
仁川	土月二十五日	鎮南浦	土月二十五日
鎮南浦	土月二十六日	大連	土月二十六日
門司	土月二十七日	仁川	土月二十七日
仁川	土月二十八日	鎮南浦	土月二十八日
鎮南浦	土月二十九日	大連	土月二十九日
門司	土月三十日	仁川	土月三十日
仁川	土月三十一日	鎮南浦	土月三十一日
鎮南浦	土月一日	大連	土月一日

一、大成丸 昨二日午後二時佐世保系大連放頭、同日入港、載物、各地行運、需品  
 一、七早流艇 明日午前九時放頭、向々出港  
 一、陸軍運送船 及商船 出入港九、如之  
 土月二日午後 出立、樽大、安藝、若狹、吉野、旺洋 (以上内地)  
 入備後、大連、久保  
 出金澤 (内地)  
 (南船) 三盛運  
 入三乾、河乃、有、慶、山、玄、太郎  
 (南船) 蓬萊、神幸、基隆

土月三日 前  
 (南船) 蓬萊、神幸、基隆



軍務局

大連防日報第三四二號

大連灣防備隊

三十一年十二月四日正午

七ノ五

一 傳染病発生

當子作部損際志方京吉立月二十七日職工宿舎に  
於て奈病今日初診昨日流行性腦脊髄膜炎に診  
建當隊傳染病室に收容ス

一 關東總督府より龍ノ電報アリタル旨昨三日附大連兵站司令

部より通牒アリ

一 關東憲兵隊關東兵器廠及第一第二關東陸軍

附病院に編成ヲ令セラルルに編成命令ハ十二月二日午前十一時

三日午後四時十五分發艦隊附屬港務部長電報

本部着道、佐世保海軍港部内ニ事務ヲ開始ス

一 昨四時後四時四十分春旅順口港務部より地ノ電話アリ

一 周防方面小平島方面より四島、向ヶ航行之アル旨南口南

より報告アリ

一 駆逐艦子、自午前九時鎮遠年前十一時何レも周防護衛

為り出港

醫務局

一戰利艦卷云(フサードニツク)ハ明日放浪ヨリ修理ノ為

去留港(廻航)豫定

一襟裳丸來ルハ八日午前七時出港當隊附屬汽艇金谷九ノ佐

世保正護送ノ上並架鴨(回航スル豫定)

大成丸午前九時十分佐世保ヨリ入港明朝ハ時放浪(向テ出港

芝罘丸三日之後四時佐世保發大連放浪(回航ス格載物ハ大連

放浪行學帶品二百二十五個十三噸放浪行一三八一個(八噸

七號汽艇午前九時放浪(向テ出港)外風波ノ為メ引還シ明朝

午前九時更ニ出港

來心士月九日午前八時三十分第一三師團司令部(師團長井上光)

大連線(下庫宿舎ハ窓面亞町第一号ノ管有之保青大連

兵站司令部ヨリ知アリ

陸軍運送船及商船出入港九(如)

十日三日午後 出(高貴) 志佐 新竹 久保 大連 河内浦(及上内地)

(商船) 蓬萊

(商船) 交通 土海

入 月康 三元山

(商船) 二福山

十二月四日 出(去) 三衛(内地)

(商船) 二福山

(3)

大連防日報第三四三號 大連 灣防備隊  
 三十八年十二月五日正午

軍務局

水路部

一 丹島沖浮流水雷発見

陸軍運送船日東丸 報告 十二月三日午前九時三十分東經  
 一百三十二度三十五分北緯三十八度二十九分三十分  
 五度東十七海里 位置 於 浮流水雷一個 発見 直標識  
 卜レテ 空樽、才 飛 詔 意 早 下 旗 多 附 着 投 入 置 置 多 々

一 鎮遠周防子、自海上不良、為、昨日午後二時三十分入港

一 卷雲、大連、面航、海上不良、為、進引

一 韓國汽船弘濟丸、昨日旅順出港、通報アリ

一 大成丸午前八時三十分旅順、出港

一 陸軍運送船及商船出入港丸、如シ

青島四日午後 出 明保野、二 乾坤、丹 瀾波、博 多 巴 (以上内地)

十二月五日午前 出 吉 林 (以上内地)

入 南越、(商船) 基隆、天照、盛德、大湖、永田、蓬萊、  
 慶園、五多、三摩平、(商船) 八

大連防日報第三四四號 大連 灣防備隊

三十八年十一月六日正午

金州灣南岸機械水雷處分  
 華鎮堡會羊圈子溝沿岸ニアル機械水雷處分  
 當隊より下士卒二名通譯ヲ派遣シ之ヲ爆陣セシメタリ其水  
 雷ハ日本、球形水雷ナリシト

(参照) 十一月五日日報第三一三号

軍務局

一 金剛昨五日前佐世保着

一 卷雲、當港、回航ハ天候不良、為メ又々延引

一 芝罘九日前八時二十分佐世保ヨリ入港午後一時放噴(向々出港)

一 七號汽艇昨五日前九時放噴(向々出港)

水路部

一 陸軍運送船及商船九ノ如シ

十一月五日夜 出 北陸、白東、惣浦、若島 (以上内地)

入 住吉、芙蓉、四國、讚岐、孟買

十一月六日午前

出 第五多聞、高雄、小籠 (以上内地)  
 入 膽振、末廣、六共、善佐方、三琴、天津

十二ノ十三

三 観音

(高船) 宗信、平安

警告報

昨五日午後八時十分第六臨時觀測所より通報

海上風雨、嵐あり、韓回及遼東半島ノ沿海ヲ警戒ス、低気圧、天津、北、ア、リ、テ、七、六、花、ヲ、示、シ、南、東、ニ、向、テ、進、行、セ、ル、ト、ス、

(了)

大連防日報第三四五號 大連灣防備隊

三十八年十二月七日正午

大連灣口浮流水腐登見爆沈

大崗口派出出當敷設隊員八本回午前土時三十分頃北  
三山島方面ヨリ内水直北岸之向に浮流來りたる回序内  
錐形核 浮雷ヲ發見シ之ヲ爆沈シタリ

軍務局

陸軍運送船 天津丸 報告 五日午後一時北緯三十七度 東經  
百二十三度ノ所ヲ通過 際 漂流ノ漢船ヲ認メタル依リ之ヲ  
本船ニ收メタル 舟中人ナク 兼 只船中ノ鐵札ニヨリ 尤事  
ヲ知リ得タリ

水路部

豫國西字和郡二本生村今大空ニ及ニ番耕地六百十七畝地  
田中棟吉

陸軍運送船 田浦丸 報告 依ル全船ハ去ル三日午後三時長  
竹水道ニ於テ 露國軍艦マシビエール及駆逐艦ニ隻運送  
船一隻南航スルニ會シタリト

一七 第六共同丸運送表 大連砲台場司令部ヨリ送付アリ

第六共同丸運送表(五月份) (五月份調製)  
鎮南浦 癸正 年 十一月二十七日

備考	復航		航往		
	龍岩浦	鎮南浦	龍岩浦	鎮南浦	仁川
龍岩浦結氷七八回地ノ際ニ鎮南浦ニ大連ニ遊航ノ變更ス	着	着	着	着	着
	午後六時	午前八時	午後二時	午後九時	正午
	九日	八日	七日	六日	五日
	二十四日	二十三日	二十二日	二十一日	二十日
	二十九日				十九日
					十八日
					十五日
					十四日
					二十九日
					二十八日

一新深丸六日午後四時五十分保登大連旅順(回航)入搭載物ハ  
 大連行軍需品四回旅順口行同九十三個約二十三噸

○芝罘丸素九日午後入港十日午前七時佐世保(向)出港豫定

一旅港五五號汽艇着雲ノ際午前九時三十分旅順ヲ登レ商  
 地ノ向

一陸軍運送船及商船出入港九ノ如シ  
 七月六日午後 出 盛運 佐渡備後 錦蘭 日英 (以上在港)  
 入 鹿兒島

軍務局

三月七日午前

出主吉、ニ曼聞(双上内地)  
入福井、旅順、空知、大孤山、五辰、日野、勝山  
北都 (高城) 蓬萊、咸興

一 警言報

昨六日午後八時第六觀測所より電話

海上風雨ノ虞あり韓國南部以南ノ沿海ヲ警戒ス候旨ハ  
上海ニ西ニマリニ七五六機ヲ示シ北東ニ回リ進行セントス

一 解言報

本日午三時十一時二十分至所より電話

韓國北部及遼東半島ノ警戒ヲ解ク

(3)



大連防日報第三三六號 大連灣防備隊

三十八年十一月二十八日正午

英艦「アストリア」艦長「ツプ子ル」大佐、痲症に經過至り、  
好ニシテ二三週間内職務ヲ執リ得ルニ至ラント同大佐ヨリ  
來信アリ

七號砲艦昨二十七日午後五時三十分威海衛ヨリ入港

一滿州軍總司令部ヲ載セタル丹後丸、出帆時刻、航路速  
力等ハ九ノ豫定ニ候旨大連砲台場司令部ヨリ通報アリ

大連出帆 十一月三十日正午

七套島通過 同島(向直航)十一月一日午後〇時三十分頃

長竹水道通過 十一月一日没前

巨文島通過 十一月一日午後九時半頃

對馬神埼通過 十一月一日午後五時頃

六連通過 十一月一日午後八時頃ヨリ翌朝迄

諸島附近偵泊 十一月一日午前十時

似島着 十二月海軍半(平均速力)所定九ノ船隊ヲ航行中

一陸軍運送船及商船出入港丸ノ如シ

十河三昌後 出 鹿兒島 (丹波) (高船) 狭野  
入 大安、横浜、幸運、金澤、巴、山城

十四年(日新) 出 筑三夏、劍山、日野、鎌倉、横濱、江戶  
(高船) 安平

入 笠戸、五里、弥彦、米山、築太湖、酒田

(3)

1783

洪覽

軍務局

大連防日報第三三七號 大連灣防備隊

三十八年十一月二十九日正午

芝罘九昨二十八日午後一時五分旅順ヨリ入港

一本月十三日以降市内此在各部隊に於て傳染病患者九ノ通  
發生候旨大連衛生委員事務所ヨリ通知アリ

病名 痘瘡 痘瘡 痘瘡

所屬部隊

陽慶杖斯

青三三日上等兵

歩兵第六旅隊第十二中隊

陽慶杖斯

全

十一月六日 輸卒

第八師團第一補助輸卒隊

全

全

十一月六日 大

第十一師團第八補助輸卒隊

全

全

十一月六日 大

大連市青野所三自四九番地地方人

全

一陸軍運送船及商船出入港九ノ如シ

青三三日前後 出江戶、信濃、幸運、大安、城、共安、太治(以清地)

(商船) 博愛、嘉代、野平、立山、蓬萊、二福山、康安

青三三日前後 出能登、千代、三河、博愛、(以清地)

(商船) 博愛

(一)

電務局

大連防日報第三四六號  
三十八年三月八日正午

大連灣防備隊

三十九

出入渠

本日前數波運貨船二隻出渠引續十卷雲旅港  
二十五早淡艇六號汽艇入渠

局員大連灣内浮流水雷發見

水路部

○ 勝山丸船長報告 七日前九時四十分大連灣入港  
東經一百三十一度四十七分 北緯三十八度五十六分  
北三十八度五十八分 西三十二度二鐘 外於洋流用錐形水雷發見

○ 博愛丸船長報告 七日下午四時大連灣口北三山嶺  
針方位南見 四時内水道航路中央部水深十五尋  
海圖三百六十九号 所記洋流用錐形水雷一個發見  
赤色旗立 赤五針標 假之其位置示  
置キタリ 當時漲潮 半三ノ北西和風

○ 劍山丸船長報告 七日下午四時五十分北緯三十八度五十分  
半東經一百三十一度五十分 北三十八度五十分  
一窪二鐘 地真 旋之 田 錐形標 水雷 如才一浮流

セルヤ発見セリ  
右二件処分為ノ敷設艇ヲ昨日及今朝派遣シテ未ク報告セ  
ザル

一 田島附近洋流水雷発見撃沈

大孤山丸船長報告 六月午後二時四十分北緯三十八度四十  
二分四十五秒 東経百二十二度九分四十分 田島北十度西三哩

洋流水雷発見 射撃(小銃彈百五十發消費) 撃沈セリ

一 旅港二十五號汽艇 船名 卷雲 昨七日下午三時旅順ヨリ入港

一 礮丸ハ解備スベキ 高田隊附 廣、金谷丸ヲ護送シ海上良好

ナレバ 明九日午前七時 佐世保ヲ経テ 舞鶴ヨリ出港

一 七号汽艇 昨七日下午四時三十分 旅順ヨリ 帰港

一 旅港六号汽艇 昨七日下午三時 旅順ヨリ 入港 本日午前九時三十分

陸軍運送船及商船出港 港元、如ク

七月七号後 出港 大和、三辰、美竹、宣蘭、三喜、筑方

(商船) 蓮葉、平安、宗信

入 豊富、剣山、博愛

出 仁川(内地)、(高船) 八取、上海、相生

三月八号午前 入 出 廣島、志知、神威、香川、神宮、近法、五観音

軍務局

大連防日報第三四七號

大連灣防備隊

五ノ九

三十八年十二月九日正午

一十三号十七号十三号十五号三号砲艦昨八日午後旅順ヨリ

入港

一周防午七時出港 佐世保 航金之就リ子自午五前九時十  
分鎮遠午前十時三十分何ハ周防護衛ノ為ニ出港

一駐韓米團公使「モルガニ」氏全総領事「バドツク」氏本日  
午前十時四十五分陸軍運送船信濃丸ヲ仁川ヨリ大連着

今迄素洋「ホニル」船泊明朝八時過三河川九時旅順ニ  
到ル來ル十二日午前七時四十分汽車ヲ旅順ヨリ青連直ニ

丹後丸ニテ同村「帰ラル」豫定

一襟素丸ハ午前七時四十五分金谷丸ヲ伴ヒ佐世保ヲ經テ無殊  
鴨「向ケ」出港重ナル格載物ハ棧橋用杭田柱三十八本附屬

品十四個浮標用短鎖鎖一條後送、英炭約三千六百噸、  
○新浮丸午前八時三十分佐世保ヨリ入港午後一時旅順「向ケ」出港

○芝罘丸昨日午後旅順ヨリ入港明朝七時佐世保「向ケ」出港  
三河川九朝八時旅順「向ケ」出港

一素四日午後四時旅順「向ケ」出港 新内小平島字玉皇嶺東南端海岸附

近ハ何處ヨリカ氷霜降雪ニ來ル風波、為メ岩礁ニ衝突爆  
 及森センモ幸ニ被害者ハ無ク上月同地警署官吏派出野  
 報告アリタル旨昨八月附東洲民政署有警署新通  
 標アリ

一陸軍運送船及商船出入港九ノ如シ

土月廿日午後 出 望月、揚武、膽板、慶國、多吉吉、北都、  
 加賀、石井、大、天湖、阿波(以上内地)

又 彰化、三河、

土月廿日午前 出 茨航、神宮、東郷、彰化、高砂(以上内地)

入 富士山、竹浦、信濃、

(3)

軍務局

大連防日報第三〇九號 大連灣防備隊

三十八年十二月廿五日正午

大連灣内ニアリタル浮流雷ヲ昨日巨敷設艇ニテ大連灣外ハ港附近ニ至ル点搜索シタレドモ遂ニ発見セザリシ者

報告アリ

三河川丸ハ駐韓米國公使總領事ヲ乘セ午前九時三十分旅順ハ向ケ出港

水路部



陸軍運送船大連洋丸仁川丸ヲ乗キ昨日午後五時十分入港 仁川丸ハ陸兵一千名格載航行中推進機ヲ破損シ八日午之以前時半海北緯三十七度十分東經百二十三度五十七分ノ所ニ漂泊シタルモノナリ

芝罘丸昨日午後一時十分旅順ヨリ入港 昨日午前七時三十分世保丸ハ出港當隊ヨリ重シク搭載物ハ導火薬ヲ籠ニシ箱下瀆六枚火薬四百六十箱綿火薬二百十箱海中爆発 電信管及断電路信管七箱

一 孟号砲艦昨日午後四時十分旅順ヨリ入港



陸軍運送船及商船出入港九ノ如シ

五月九日午後出 阿波、米山(以上内地) (商船) 玉海

入 山城、琴平、東洋、仁川、二扇海

五月十日午前 出 勢徳、末廣、大洲、竹海、福山、千箇

(商船) 交通

入 弥彦、御吉野、弘濟、目乃尾、河内、巴

(商船) 蓬萊、八永田、西水田、錦竜、蓬盛

福岡

(3)

1790

軍務局

局員

大連防日報第三四九號  
三十八年十月廿五日正午  
大連灣防備隊

三十九

1791

一 柳樹化砲台司令官陸軍歩兵少佐本城幹太郎  
本月八日司令官免職大連砲台司令官陸軍少佐  
中佐中島久敬砲台司令官兼勤被仰付美首昨日  
甘南柳樹化砲台司令官司令部通報了り

一 七号七号七号七号七号七号七号七号七号七号  
亦自午前八時出港佐世保向々帰朝途々就々

一 全副昨十日業鶴着

一 新浮丸明日午後一時頃旅順より入港明後十三日午後五時  
佐世保向々出港豫定

○ 標堂丸 金谷丸 炭水格載 爲々假泊  
(昨十日下午三時發向島望樓艦報)

一 本日正午在港艦船

艦 敷波 巻雲

陸軍運送船

商船

一陸軍運送船及商船出入港九如左

十一月十四日午後

出 福井 知山、三琴幸、共親善、諸波、同野、(高松)  
 入 能登、ヨシ喜、三寺岡、力屋、今代、錦生、岡橋、  
 丹後、依姫、(高松) 宗信、  
 青月土日午前 出 博愛、神洲、大山、大孤山、錦生、(高松) 宗信、  
 二扇海、(旅順)

警報  
 海上風雨、甚矣、ア、韓國、中部、以南、沿海、ヲ、警戒、ス、(高松) 宗信、  
 那東、山岸、ニ、ア、リ、テ、七、六、ノ、程、ヲ、示、シ、北、東、ヲ、進、マ、シ、ト、ス、  
 (早、前、土、時、三、十、分、某、大、観、測、所、ヲ、電、告)

3

供覽

大連防日報第三五〇號 大連灣防備隊

三十八年十二月十五日正午

軍務部

一浮流水雷発見

高島

徳田

陸軍運送船錦生丸報告十二月九日午後三時三十分北緯三十度四十分東經百二十五度二分(即七發島大青島トノ航路中間)薄赤色有南円錐形水雷発見小銃射撃結果不発 依り石洶鐘之赤色旗ヲ立テ流シ置ケリ

一三河川丸新浮丸午前七時十五分旅順発着(青地)

水路部

和室

陸軍運送船及商船出入港尤也

(以青地)

杉本

十二月十四日午後

天津、近江、富山 (以青地)

入 安藝、三手代、興安、旅順

(商船) 賴朝

十二月十四日午前 出 三手代、太郎、目乃尾 (以青地) 京都、満珠、立山、大連、吉備、吉賀、新竹

(商船) 高取

(3)

十二月十九日

1793

軍務局

大連防日報第三五一號 大連灣防備隊

三十八年十二月十三日正午



一 三河川丸 昨正日午後一時旅順ヲ帰港

一 新浮丸 昨正日午後一時三十分旅順ヨリ入港本日午後五時

佐世保(向ヶ出)

局員。芝罘丸 昨十二日午後〇時五分佐世保着

一 昨夜幸鉄道提理部材木置場火災アリ消防隊ヲ防火隊ヲ派遣シタリ

一 陸軍運送船及商船出入港丸ノ如シ

十二月十二日午後 出 神威、南越、丹後、武揚、河内、喜代  
山城、新竹(以上内地)

入 博多

十二月十三日正午 出 志賀浦(内地)  
入 若狭、若観音(高船)宮島

(了)

十五

大連防日報第三五二號 大連灣防備隊

局員

十七世一

三十八年十二月十四日正午

一天草丸入渠修理、為、午前七時栗橋丸護衛下、當地、  
向ヶ旅順出港

一新澤丸昨十三日午後一時十分護世保(向ヶ出港)隊より重ナル  
搭載物、舞鶴行、鑄物破砕器、起原器、電機機附屬  
品、鐵道用車輪、脚筒用鉄管、鉄軌道合計百十八個  
及雜品三個鎮遠行、小蒸気ピストン、ワット一個

一月十三日人事局長權報枝萃

沖島副隊長 大連灣防備隊 謀議副官 後備隊 大連灣防備隊水 雷隊隊長司令 新海軍一連長 大連灣防備隊附 艦政本部課長 大連灣防備隊主計 長兼大連灣防備隊 主計官兼所長 大連灣防備隊所長 大連灣防備隊附	大連灣防備隊隊長 鎮遠砲隊長 大連灣防備隊出庫 隊隊長司令 吳豫備艦隊附 大連灣防備隊附 不知火隊組 大連灣防備隊主計長 大連灣防備隊附 大連灣防備隊所長 大連灣防備隊附	官名 中佐 少佐 中佐 中佐 大連軍醫 中軍醫 主計少監 大主計 大主計 大主計	川原 繁 伊藤 繁 三戸 與十郎 山田 亨 音山 德松 水平 衛熊 小野 濟 小川 龍 古澤 深 林 藏
---	---	--	---

大連湾防備隊附 一 曉東組 一 中主計 一 神田 信 尾

一 陸軍運送船 飛鳥南嶽 出入港 尾ノ如シ

十月十三日午後 出 旅順 三月 南、福因橋、倍濃、吉林、新彦  
入 辰、親音、五辰、(以上内地) 二 崩海 (旅順)

十月十四日午前 出 三河、香川、立山 (以上内地) 芙蓉 (旅順)  
入 無

( 3 )

1796

大連

軍務局

大連防日報第三五三号 大連湾防備隊

三十八年三月十五日正午

一出

天草丸(アムール)四号汽艇入渠  
栗橋丸(アムール)六号汽艇出渠引續

栗橋丸(アムール)六号汽艇昨十四日午後四時十五分旅

順入港

日敷設艇昨日午前九時三十分旅順(向)出港夕刻歸港

一陸軍運送船及商船出入港丸如左

青島出港後 出 京都、二加賀、吉備、辰、鹿島、田浦(以上)

入 勢徳、高砂、備後、土佐、(高船)相生

三月十五日正午 出 琴平、勝山、安藝、共親、青島、(以上内地)

入 (高船) 永田

( )

土、廿二



士ノ世

# 大連防自報第三五四号 大連湾防備隊

三十八年三月十六日正午

一乙区内浮標碇置  
元金剛繫船浮標ト防備隊司令部ト一線上ニ浮標置  
三鍵ノ所ニ二尋礁アリ之ニ木製自赤方錐形浮標ヲ昨  
十五日碇置セリ之ヲ浮標ト稱ス

一傳染病發生  
舟夫長金子源藏士月五日大連湾防備隊舟夫宿舎於  
癸病全月初診昨十五日陽室扶斯ト診定

一関東総督府濟野戰郵便局長ヨリ通知アリ  
書留郵便物郵送際ハ必ス當局受付口ニ差出シ  
郵便物等ニ混入差出カレバ其等ハ近來其手續ヲ為サズ郵便  
郵便物取扱者合書留ノ記事アルニ付ハ其便送ニ差  
書留郵便物ノ効用ナキニ至ルコト往々有之也  
尙後出向番等ニシテ差出カレラントセバ其手續  
示ニ相成候様致ス此般請通知

一芝罘丸昨十五日午後四時大連旅順向方佐世保各格載物

八兩地行履需用品(三字不明)便乘者士官五、准士官一、下士卒士其他二十六、

○大成丸十八日午前八時旅順出港當地ヲ経テ舟地ニ向テ

一陸軍運送船及商船出入港丸ノ如シ

正月十五日午後 出(商船) 頼朝、八水田、  
入 小倉、台北、太湖、 (商船) 二盛運、

十月十六日午前 出 高破、仁川、巴、錦生、孟買(以上舟地)  
入 明保野、久保、乾坤、長幸、酒田、  
(商船) 宗信、土海、

(3)

供覽

大連防日報第三五五号 大連灣防備隊

三十八年正月十七日正午

一傳津病発生ニ付キ本月十四日警務局ヨリ電報アリタル旨  
旅順口鎮守府運送長ヨリ通知アリ

下関ニハストト疑以症三、多度津ニハ大阪ヨリ入港セル航  
船内ニハストト、発生セリ為念通知ス

一九、定期船運行表大連碇泊場司令部ヨリ送付アリ

大連仁川線定期運行表(正月一月份)

航線	往	船名	発	着	返	船名	発	着
大連	大連	大連	着 午後一時	左 二十一日	左 二十一日	大連	着 午後一時	左 二十一日
大連	鎮南浦	鎮南浦	着 午後一時	左 二十二日	左 二十二日	鎮南浦	着 午後一時	左 二十二日
大連	仁川	仁川	着 午後一時	左 二十四日	左 二十四日	仁川	着 午後一時	左 二十四日
大連	仁川	仁川	着 午後一時	左 二十六日	左 二十六日	仁川	着 午後一時	左 二十六日
大連	鎮南浦	鎮南浦	着 午後一時	左 二十八日	左 二十八日	鎮南浦	着 午後一時	左 二十八日
大連	大連	大連	着 午後一時	左 二十九日	左 二十九日	大連	着 午後一時	左 二十九日

備考 定期船ハ浦外碇泊場海九ヲ用ス

一五日轉載、補遺

七、廿四

新 職

千歳機関長 心海

防備隊機関長

旧 職

防備隊機関長

八重山右隊長

官 氏 名

機関少監 奥村次所 吉

大機関士 細野幸三郎

一周防、鎮遠、十六日午後一時佐世保着

一大連兵站司令部より電送通報

大島給督十七日午前土時登陽釜旅順へ向、十九日午後大連

着、時間未定二十日午前大連、巡視午後丹波九、来船上京、

二ル、豫定  
一陸軍運送船及之商船出入港也、也、

十月十六日午後

出 依姫、久保、若狭、旺洋、弘濟、明保野(以上内地)

入 多喜、漫園、

十月十七日午前

出 萬室、満珠(以上内地)

入 博南、二善佐方、日英、蓬康、日康、温州、五島南、  
二乾坤、丹波、大和、二辰、江、八須、南、地陸、  
(南船) 惠比須、平安、八水田、宗信、

(3)

供覽

大連防日報第三五六號 大連灣防備隊

主ノ世

三十八年四月十八日正午

軍務

局長

司員

一字流氷雷発見

陸軍運送船慶園丸船後報告上月十六日午後四時十分東  
經百二十三度三十分三十分北五十七度十分(山東高角、東南  
東岸上運)地流氷腐五個内一個白色、旗、立、航  
モ、認、白、色、旗、立、航、約、一、運、前、航、  
丸、運、送、船、ナリ

水路部

第三號 乾坤丸船長報告上月十六日午後三時三十分北緯三十  
七度十分東經百二十三度三十分内、鐘形流氷腐一個、発見  
シ、船、名、ヲ、記、シ、タル、白、旗、ヲ、左、水、腐、ヲ、附、着、シ、置、キ、タリト

第三號 第七號 第一十號 第二十三號 第二十四號 第二十五號 第二十六號  
砲艦 昨十七日午前土時三十五分佐世保ヨリ入港午後一時旅順ヨリ出港

第一號 昨十八日午前八時四十分佐世保ヨリ入港午後二時旅順ヨリ出港  
大成丸 本日午後旅順ヨリ入港明日午後二時佐世保ヨリ出港  
横須賀(向)出港

〇 榎原丸 金谷丸 午三時八時佐世保安

一 天斷開東條 長八十九日午後一時四十五分旅順へ發し午後五時  
 三十分大連着二十日午前大連より視之同日午後一時より二時迄  
 間丹波丸之乗船セラル、前兵隊司令部より電話有り

一 陸軍運送船及商船出入港丸、如き

十月廿七日午後 出 遼東、乾坤、北陸、二陸、平、土佐、江戶(以上)  
 一 太湖(仁川) (商船) 上海

入 二扇海、錫蘭、美代、三島

十月十八日午前 出 能登、空知、雄勝、須浦(以上内地)

入 三世、直蘭、高雄、刺山

(商船) 摩耶山

(3)

供覽

大連防日報第三五七號 大連灣防備隊

三十八年十二月十九日正午

一 敷波午後一時旅順(向)出港

臨時軍馬檢疫部大連檢疫所長大嶋騎兵少佐令般水部員二轉任致其後任ト一騎兵中佐橋本鐵石昨十八日着任候旨同所通知アリ

大成丸昨十八日午後〇時早分旅順ヨリ入港

局員 陸軍運送船及商船出入港元一如此

十二月十八日午後 出 東洋、二 乾坤、五 多瀨、高雄、多善、御吉野

(商船) 三 島(以上内地)

入 揚武、阿波、二 扇海、二 栗郷、彰化、加賀

(商船) 鷹取、福岡、八 永田

(商船) 香取

十二月十九日正午 出 勢方、(内地) (商船) 三 福山

入 二 多瀨、幸運、嚴島、土海、錦彦

(商船) 二 福山、宗信

三六

大連防日報第三五八號 大連灣防備隊

三十一年五月廿五午



大連衛生委員長ヨリ昨十九日附九ノ通牒アリ

供覽 濟

從來馬疔防疫(殊ニ支那馬)之關シテ其方法ニ種々困難  
ナル有之候ガ鬼ノ角病馬ヲ養見ニ或トシテ各部防疫  
那馬車ヲ使役スル際ニ毎回馬疔ニ接シテ外観甚ク異状  
瘦セルモノ眼病アルモノ外傷又ニ腫物アルモノ其他種々異状  
アルモノ直ニ其使用ヲ禁シ且支那馬若力ニ注意シ其  
ル様ナク自然支那人ノ於テモ病馬ヲ保護スベク從テ  
井上又ク防疫上ヨリ少ク好果ヲ見ルベク候ト相信シテ  
此般御注意ニ申進メテ也  
此等御注意ニ申進メテ也  
追テ必要ト申話シテレテ矣場合ハ衛生委員事務所ノ御  
差出相成度候



天成丸昨十九日午後二時佐世保ヨリ輕ク横須賀(向出港)  
〇其界丸明二十日午後旅順ヨリ入港ニ至日午後五時佐世保  
向出港ノ豫定  
陸軍運送船及浦出入港丸ノ如ク

五廿七



正月九日午後 出 備後、錫蘭、博多、二喜、佐方、愛國、

入 無

正月廿日午前 入 米山、大山、

出 無

3

1806

軍務局

大連防日報第三五九號

大連灣防備隊

三十年十一月十一日正午



艦隊附屬港務部長登壇

二十日本部編制ヲ解カレタルニ付キ來ル二十三日本部ヲ解

供覽



陸軍運送船幸運丸船長報告

十二月十六日朝馬関海峡ヲ通過シ大連ニ向テ進行中同日午  
前十時三十分右舷船首ニ波高リ頭覆セシ漁舟ニ目標ヲ  
立テ頻リテ持船ニ向テ救助ヲ求ムル人員ノマルヲ認ム依  
右物件ニ接近シ進行ヲ停止シ端舟ヲ即シニ等運轉士以下  
氷夫三名ヲ遣ハシ之ヲ救助セリ時ニ持船ノ位置ハ東経百三度  
八分北緯三十四度一分ナリ然レテ救助セシ人員ハ漁舟輕子丸乘  
組大分縣北海部郡上浦村ノ子風成百六十二番地平民平川  
由五郎外四名ノ漁夫ニテ寒氣ノ為メニ疲弊シ已ニ四肢自肉  
モ充合ナラス故ニ夜食ヲ英ノ暖ク採ラシメ一方於テハ漁舟  
内ニ死体アルヲ認メシ依リテ之ヲ舷側ニ引キ付テ尚モ現在  
物品共ニ本船ニ收容シ同十一時三十分針路變シ進行ヲ續  
々大連ニ入港セリ

本日正午在港艦船

士一也

1807

軍艦 卷雲

戰利船 三河川 天草  
揚武 福山 眉山 酒田 富美 二辰 三池

阿波 直蘭 美代 鎌倉 興安 大山 日英  
笠戶 東郷 佐渡 乙女 大 彰心 三多 團 三前 海  
幸運 嚴衛 米山 三琴 幸 加賀 富貴

商船 香取 平安 蓬萊 土海 相生 錦意 金城  
宗信 摩耶山

一陸軍運送船及商船出入港丸如シ

正月二十四日午後 出 温州 木和 四國(以上内地) 小倉 大連  
入 青島 福山 富士山

正月三十日午前 出 温州 大和 四國(以上内地)  
入 乃世 大 坊廣 鎌倉 富貴 三琴 幸

(3)

供覽

大連防日報第三六〇號 大連濟防備隊

三十八年五月二十二日正午



軍務局



一訂正

南三山島燈台燈器、等級四等ヲ三等ニ光達巨濟十

八運ヲ二十一日訂正ス  
(参照) 五月十日日報第三一八号

一(大連) 兵站病院

通報アリ  
五月十日日報第三一八号  
編成替、旨同院ヨリ

一第一分院、第一關東陸軍病院ト改称ス

一第二分院、第一關東陸軍病院第一區トス

一第三分院、第一關東陸軍病院第二區トス

一旅順要塞病院、第一關東陸軍病院旅順分院トス

一傳染病発生、五月十九日發國務局長ヨリ、電報アリ

青森、香川、三豊、那珂、勝間、村及福岡縣大年田、疑似ハスト、發

生又、泉州、岸和田、ハスト、發生セリ

一五月廿八日、津市内、化在、各部隊、於、傳染病患者發生、旨大

水路部



運衛生委員事務所より通知あり

病名	病者決定年月	官職	部隊	備考
陽萎扶斯	七月十五日	輪	卒	大連兵站司令官
疑熱性病	七月二十七日	一等	卒	第二師團第三三補助隊
	七月三十日	一等	卒	步兵第三十三聯隊
	七月二十日	二等	卒	第三師團第三三補助隊
	七月三十日	補給隊	卒	第八師團第三三補助隊
	七月三十日	二等	卒	大連海軍工廠
	七月三十日	二等	卒	大連海軍工廠

小村全權大使二十七日午後乘皇皇島出發歸朝、途中大連港に寄港し、旅順方面視察等、答

一、大正九年九月十五分佐世保に着、芝罘九時二十日午後一時三十分旅順に入港、本日午後五時佐世保へ出港、左船三十一日返り入港、答

一、陸軍運送船及商船出入港丸、如之

七月二十日後 出 直蘭、三前海、三辰、三琴平、加賀、二多聞、彰化

入 福浦、志賀浦、日乃、錦意

七月二十日以前 出 美代、酒田、(以上内地)、瓊浦(海上)、高船(宗信)

入 丹後、瀧波、竹浦、六共岡、(高船)八水田

供覽

軍務局



大連防日報第三六一號 大連灣防備隊

三十八年三月二十三日正午

局長 第一九運 行表大連砲台場司令 謹啓

第六共同九運行表 (自三月十九日)

鎮南浦	着発	午後一時	十九日	二月二日	十三日	二十五日
大連	着発	午後一時	二十日	三日	十四日	二十六日
鎮南浦	着発	午後一時	二十一日	四日	十五日	二十七日
仁川	着発	午後一時	二十二日	五日	十六日	二十八日
鎮南浦	着発	午後一時	二十三日	六日	十七日	二十九日
鎮南浦	着発	午後一時	二十四日	七日	十八日	
鎮南浦	着発	午後一時	二十五日	八日	十九日	
鎮南浦	着発	午後一時	二十六日	九日	二十日	
鎮南浦	着発	午後一時	二十七日	十日	二十一日	
鎮南浦	着発	午後一時	二十八日	十一日	二十二日	

龍岩浦結氷舟正月運行者更正ス

一三戸前水雷敷設隊司令與村前防備隊機關長昨日退隊  
一南三山島燈台信號用旗竿去十七日落成

一芝罘丸昨二十一日午後五時五十分出港  
一十餘載物及佐世保建築科行道用鐵管三十一本  
一龍岩浦結氷舟正月運行者更正ス

一陸軍運送船及商船出入港元ノ如シ

三月二十一日午後 出 一東郷、日英、河波、大共同、竹ノ浦

富士山(以上内地)、(商船)摩耶山、土海、八景園

入 玄山、三琴平、三河、河内

三月二十一日午前

出 揚武(非内地)

因幡、吉林、神州、(商船)蓬萊、日乃出、三盛屋

(3)

供覽

大連防日報第三六三號 大連湾防備隊

三十八年十二月二十四日正午

軍務局

一七發島沖浮流水雷発見

近江丸船長報告 昔岸ヨリ大連へ向ケ航行中十二月二十二日午後〇時十分北緯三十三度十四分東經一百二十五度三十分朝鮮西岸(七發島)北西面左(南三十度)ニ於テ鉄製円錐形浮流

水雷一浮流スルヲ目撃シタリ

一昨三十三日子後四時十分艦隊附屬港務部長登艦

本部本日豫定、如ク解散セリ

一西良川九廿六日午後激噴ヨリ入港二十七日午後佳世保へ向ケ出港

水路部

一來ニ二十五日ヨリ内地發戰地私用軍事用品郵便物等ヲ引渡シ、關始、首開東總督府第一野戰郵便局長ヨリ九件直送

内地發戰地私用軍事用品郵便物等ヲ引渡開始ノ件  
一本月二十五日ヨリ内地及在外普通郵便局、於テ軍事郵便規則第三條ニ列記タル九記軍事郵便物全部ヲ引渡シ、為シ一般野戰郵便局所ヲシテ其郵便物ヲ取扱ハズ、但、清洲苑私用軍事用品郵便物、限、清洲苑



内一個、重量六百匁以下

一、通書印郵便物

第一種 書狀

第二種 郵便葉書

第三種 每月

一回以上発行スル定期発行物

第四種

書籍・印

刷物、寫真

二、小包郵便物

野戰郵便局及陸立所に於て引受、陸軍郵便物種類制限等ハ総て従前通トス

三、野戰郵便局又ハ陸立所に到着シタル私用軍用郵便物ハ當分内配達ヲ為サズ各配達局野戰郵便局に送付スル取受人之通知ト共、郵便物配達證ヲ送付スル取受人之証配達證相需欄ニ捺印、上層層上証ヲ捺印シ野戰郵便局所ニ持参シ之レト引換、小包郵便物ヲ取受ケラルヘシ

四、郵便物ヲ教頼湊等、場合に於てハ私用軍用郵便物ハ通書、軍用及公用小包郵便物ノ處理ヲ妨ケサル限リ取扱フコトアリ

陸軍運送船及商船出入港九ノ如シ

十二月二十日午後

出

三池、嚴島、神州、石炭大(以上内地)

(南船) 香取

入

近江、十五親音、旅順五辰、京都、三木代

十二月二十日午前

出

大山(内地)

信濃、武揚、神威、弥彦、天津、鹿兒島

御堂

(南船) 駿甲、土海、杯師

( )